

事業評価個票（事業実施：令和7年度）

（様式1）

事業名	持続可能な山岳ツーリズム強化事業		開始/終了(予定)年度	令和7 / 未設定		活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
部局・担当課名	観光文化スポーツ部観光交流拡大課						活動指標及び活動実績 (アウトプット)	①動画制作本数（本編動画及びショート動画の合計）	活動実績	本				
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱3]高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化 [政策3]国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化				活動指標及び活動実績 (アウトプット)		当初見込み	本	2				
	施策	[施策1]観光地域づくりの推進					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	②製作動画を活用したプロモーションの実施件数	活動実績	件				
	目標指標	観光消費額	2,600億円			活動指標及び活動実績 (アウトプット)		当初見込み	件	2				
事業の目的	温暖化の影響やインバウンド需要の拡大を踏まえ、山岳観光の底上げを図り、年間を通じた持続可能な観光受入態勢の整備を図る。						活動指標及び活動実績 (アウトプット)	③	活動実績					
						活動指標及び活動実績 (アウトプット)		当初見込み						
事業概要 (令和7年度の実施内容)	温暖化やインバウンド需要の拡大を踏まえた新たな樹氷観賞地や霧氷・氷瀑などの観光資源、冬だけではない四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信動画の作成、発信によるプロモーションを実施する。 ①魅力発信動画の制作 ・蔵王温泉の樹氷以外の冬季観光コンテンツや冬季以外の蔵王の魅力を紹介する動画を制作する。 ・インバウンド客の視聴やSNSでの活用も想定した内容とする。 ②プロモーションの実施 ・上記①の動画を活用しながら、冬季の局所的な観光需要を同時期の蔵王エリア内の地域・他コンテンツあるいは冬季以外の季節に分散・平準化させつつ観光誘客を図るためのプロモーションを実施する。						成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標（所管部局の分析）		単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他（ ） 上記実施方法とする理由：民間事業者のノウハウを生かし、効果的に取組みを展開するため。					成果指標及び成果実績 (アウトカム)		①本県での観光消費額	成果実績	百万円				
							成果指標及び成果実績 (アウトカム)	目標値	百万円	190,989				
						成果指標及び成果実績 (アウトカム)		達成度	%	0%				
							成果指標及び成果実績 (アウトカム)	②本県旅行での延べ宿泊者数	成果実績	万人泊				
						成果指標及び成果実績 (アウトカム)		目標値	万人泊	646				
							成果指標及び成果実績 (アウトカム)	達成度	%	0%				
						成果指標及び成果実績 (アウトカム)		③山岳観光地の観光者数	成果実績	千人				
							成果指標及び成果実績 (アウトカム)	目標値	千人	662				
						成果指標及び成果実績 (アウトカム)		達成度	%	0%				
当初予算額 (単位:千円)	予算見積書グループ名	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		令和11年度	④	成果実績					
	① 四季を通じた蔵王エリアの魅力底上げ事業	7,000					目標値							
	② 事務経費	61					達成度	%						
	③													
	④													
	計	7,061	-	-	-	-	活動指標及び成果指標設定の考え方							
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	3,520					本事業による取組み状況は動画の制作本数やプロモーションの実施件数で明らかになることから、活動指標には、予算の範囲内での実施が可能と見定める動画の制作本数及び左記動画を活用したプロモーションの実施件数を設定した。 また、本事業によるプロモーション活動は本県への観光誘客及び観光消費に直接寄与することから、成果指標には本県での観光消費額や本県旅行での延べ宿泊者数、山岳観光地の観光者数を設定し、目標値の水準については本県の現状地と政府における観光消費額の目標値から算出される1年あたり伸び率等を勘案したものとした。							
	県債													
	その他特定財源													
	一般財源	3,541												
	計	7,061	-	-	-	-								

事業所管部局による評価・検証（令和 年 月）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	
事業の必要性		事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。	課題
事業の効率性		支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	
事業の有効性 (達成度)		活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。	今後の対応
		成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	

（評価基準）「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」